

実証・事業化WG提案募集シート TYPE1(官→民)

自治体名	京都府	参加希望番号 02-9
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他() ※複数回答可	
WG組成理由	R3年度に立ち上げた「Disease X感染症対策WG」について、引き続き活動を行う。 R4年度は内閣官房「下水サーベイランスの活用に関する実証事業」に応募の上、資金を獲得しつつ、下水関係者、人流関係者及び研究者等の交流・議論を深めることで、各自が保有するデータの信頼性向上に向けた相互評価や解析アプローチの高度化、感染予測モデルの構築に取り組む。	
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	<p>現状の感染症対策は、新型コロナウイルスを例にすると感染症の陽性者数、重症者数及び病床使用率等の数値から感染が拡大していることを行政が判断し、様々な措置を講じているが、PCR検査で陽性と判断された人数しか掴めず、市中での無症候者も含めた真の感染規模が把握できないといった課題を抱えている。</p> <p>本WGでは、上記の課題を解決するため、下水サーベイランスを用いて地域全体の感染拡大/収束や変異株発現の兆候を早期に捉え、感染症の流行に影響を与える要因データ(人流、CO2濃度、ワクチン接種率等)を加味し、AI解析することで高精度なSARS-CoV-2感染者数予測モデルの構築を目指す。ひいては、その予測モデルがWithコロナ社会に貢献する一つの施策にとどまらず、Afterコロナでも必要な感染症対策の社会インフラとなることを目指す。</p> <p>【(株)Adinte、(株)AdvanSentinel、(株)アナテック・ヤナコ、(株)COGNANO、(株)GOM、塩野義製薬(株)、(株)島津製作所、(株)島津テクノリサーチ、京都大学附属流域圏総合環境質研究センター、高知大学、京都市】</p>	
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年(5月:実証事業への応募、7月～1月:実証、2～3月:とりまとめ、 その他、年度中にWG内での勉強会や公開セミナーを実施)	
担当者連絡先	【所属】政策企画部デジタル政策推進課 【役職】副主査 【氏名】池内翠子 【電話番号】075-414-5677 【メールアドレス】digital-seisaku@pref.kyoto.lg.jp	